

健康と環境を守る

保健環境センターだより



アルコール消毒が効きにくい夏の感染症



夏かぜと原因ウイルス

夏に小児を中心に流行する感染症を紹介します。いずれも、感染者の咳やくしゃみ、会話の際の飛沫を吸い込むことによる飛沫感染、ウイルスがついたドアノブなどを触った手で口や鼻などの粘膜を触ることによる接触感染により感染します。

咽頭結膜熱

(原因ウイルス:アデノウイルス)

発熱、のどの痛み、結膜炎(目の充血や痛み等)といった症状が3~5日間続きます。

乳幼児、基礎疾患がある方、高齢者では重症化することがあります。



ヘルパンギーナ

(原因ウイルス:エンテロウイルス)

発熱、のどの痛み、口の中の小さな水ぶくれといった症状がでます。口の中の痛みが強いため、水分が摂れず脱水症状になることがあります。

発熱時に熱性けいれんを起こしたり、ごくまれに髄膜炎や心筋炎などを合併することもあります。



手足口病

(原因ウイルス:エンテロウイルス)

口の中、手のひら、足の裏や甲などに2~3mmの水ぶくれを伴う発疹が出ます。

まれに髄膜炎や脳炎などの中枢神経系の合併症を引き起こすこともあります。



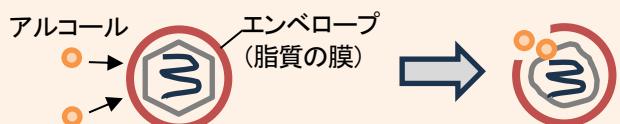
ミニコラム アルコール消毒が「効くウイルス」と「効きにくいウイルス」の違いとは?

○アルコール消毒が効くウイルス

→ 脂質の膜(エンベロープ)をもつウイルス

アルコールが脂質の膜(エンベロープ)を溶かし、ウイルスの構造を破壊します。

例) インフルエンザ、新型コロナウイルス等



感染予防 「手洗い」大切

これらの感染症の原因となるウイルスは、アルコール消毒が効きにくいため、手洗いがとても重要です。

【予防対策】

○石鹼による手洗い

調理や食事の前、トイレに行った後、帰宅したときには、必ず石けんで手を洗いましょう。



○排泄物の適切な処理

症状が消えた後も、約1ヶ月にわたって便の中にウイルスが排泄されます。トイレ使用時やおむつ交換の際には排泄物を適切に処理し、その後流水と石けんでしっかり手を洗いましょう。



○タオル・ハンカチの貸し借りをしない

感染者が使ったタオル・ハンカチなどには、ウイルスを含んだ唾液や鼻水が付着していることがあります。

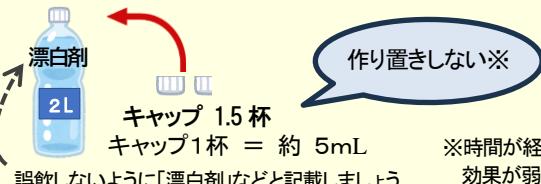


～おもちゃやドアノブ等の消毒方法～

0.02%次亜塩素酸ナトリウムを浸した布などで消毒し、10分ほど放置してから水拭きをする。

※薄めた液でも材質によっては変色や腐食を起こす場合があるため注意

台所用塩素系漂白剤(6%)を原液とした場合の作り方



※時間が経つと効果が弱まるため

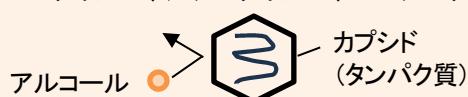
(企画情報部)

○アルコール消毒が効きにくいウイルス

→ 脂質の膜(エンベロープ)をもたないウイルス

ウイルス表面がカプシドと呼ばれるタンパク質の殻で覆われているため、アルコールに強いです。除去するためには手洗いが大切です。

例) ノロウイルス、アデノウイルス、エンテロウイルス等





「におい」について

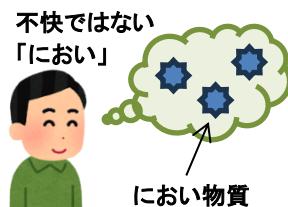
～ 悪臭は感覚公害～



「におい」の感じ方

「におい」を感じさせる物質は、約40万種あるといわれています。一つ一つの「におい」は弱かったり、いい「におい」だったりするのに、いくつもの「におい」が混ざる(複合臭)と、不快に感じことがあります。そのため、におい物質の濃度を機器で測定するだけでは、人の嗅覚で感じられる「におい」の強さを現すことができない場合があります。

悪臭苦情の原因の多くは、この複合臭によるものと言われています。



悪臭とは？

人が感じる嫌な「におい」、不快な「におい」の総称です。一般的にいい「におい」と思われる「におい」でも、強さ、頻度、時間によっては悪臭として感じられることがあります。

ミニコラム こうがい 香害について知ろう！

法律で規制はされていませんが、柔軟剤や香水などの香りで困っている人がいます。香りの強さの感じ方には個人差があり、自分にとって快適な香りでも不快に感じる人がいます。使用量の目安などを参考に、周囲の方にも配慮しながら使用しましょう。

悪臭は何で規制されているの？

悪臭は、環境基本法第2条で定める「公害」の一つで、人に不快感や嫌悪感を与えるという「感覚公害」です。そのため、悪臭防止法によって規制されています。市町等の規制地域内にある全ての工場・事業場が規制対象となり、栃木県では臭気指数(人の嗅覚を用いて臭気の程度を数値化したもの)により規制されています。



栃木県 HP

悪臭をどうやって測定するの？

以下の2種類の方法があります。

- ①特定の悪臭物質の濃度を物質毎に測定する方法
- ②人の嗅覚により測定し、臭気の程度を「臭気指数」として数値化する方法

栃木県では②の方法を採用しています。人の感覚に則したものになるため、周辺住民の悪臭による被害感覚と一致しやすく、悪臭の実態をそのまま反映することができるというメリットがあります。

人の嗅覚による測定法～三点比較式臭袋法～

複数の検査員※に3つの袋(調べたい空気が入った袋1つ、無臭の袋2つ)を配り、「におい」が入った袋を当ててもらいます。検査員の回答率が一定の値を下回るまで調べたい空気を希釈して試験を繰り返し、最終的な希釈倍率から臭気指数を算定します。

※事前に選定試験に合格し、正常な嗅覚を有すると認められた者

(大気環境部)



啓発ポスター